



1940 EL

JAPAN DRAG CUSTOM CYCLES : 049-246-3528

www.japan-drag.com

PHOTO : SATORU ISE

オーナー	MASHIMO	ハンドル	ONE OFF
カスタム製作	J.D.C.C	ライザー	
年式	1940	Rショック	
モデル	EL	スイングアーム	
エンジン年式	1940	Rフェンダー	
モデル		Rフェンダー	ONE OFF
排気量	1000cc	ガソリタンク	ONE OFF
点火装置	JOE H NT MAGNETOS	ペットコック	
コイル		シート	ONE OFF
シリンダーヘッド	H-D	オイルタンク	H-D
バルブ	H-D	ヘッドライト	HAKKOSHA
シリンダー	H-D	ウインカー	
ピストン	H-D	テールランプ	LED
ケース	H-D	スピードメーター	SMITH
クランク	H-D	Fペグ	PASSENGER
カム	H-D	Rペグ	
キャブレター	LINCART	センサーバー	
エアクリナー	ONE OFF	Fホイール	19"
エキパイ	ONE OFF 1-1/2	スポーク	
マフラー		ハブ	
ミッション	H-D	リム	
シフト形式	POLICE	タイヤ	FIRE STONE
クラッチ	H-D	Rホイール	18"
電装		スポーク	
1次ドライブ	PROMO BELT 1-1/2	ハブ	
2次ドライブ	CHAIN	リム	
ミッションノボット		タイヤ	FIRE STONE
オイルポンプノボット		Fキャリパー	STOCK DRUM
フレーム年式	1940	マスターシリンダー	
タイプ	RIGID	ローター	
製作	H-D	Rキャリパー	STOCK DRUM
ネック角	H-D	マスターシリンダー	
延長カット	H-D	ローター	
ドフック	H-D	塗装タイプ	FISH?
アタッチメント		色	BLACK×GOLD
イナナーチューブ		塗料	
トリブルツリー		ペインター	大吉ルアー&J.D.C.C

UNA BALANZA

ベースは10年前に購入したというフルストックの貴重な'40年式EL。カスタムを手がけたのは流行に左右されない独創的で業界を牽引するジャパンドラグカスタムサイクルス。

ハンドル、Rフェンダー、ミッドコントロール、マフラーと、スタイルを決めるそのほとんどの外装をワンオフし、全体の顔でもあるガスタンクは、「大吉ルアー」によりエアブラシで描かれた鱗の塗装と、「西山金属工業」製作の銅板叩き出しの金メッキ仕上げのタンクエンブレムで妖艶な雰囲気を漂わせる。そして最も特質すべきは、貴重な'40年ELをいつでもストック状態に戻せるようにと、ステーをひとつも切り落とすことなく完全ボルトオンで製作した点である。

「アドバイスを受けて、手を借りて…僕だけの力じゃここまでではできなかったです」と語る自身初のメインビルダーとなった西山氏は、横浜で開催された'06HRCSで華々しくデビュー。「足を向けて眠れない」という公私ともに浅からぬつき合いのオーナーとの関係性、先輩の適切な助言、仲間の協力があつたからこそ生まれた、素晴らしい1台である。



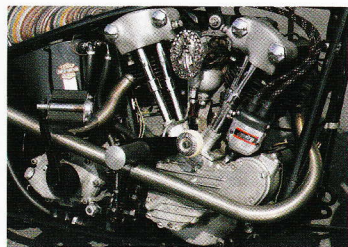


CUSTOM OF THE MONTH

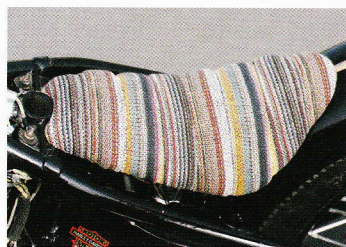
Fフォークはストックのスプリングカー。独特の凹凸があるヘッドライトはオークションにて格安で手に入れた日本製のフォグランプ。タイヤはファイヤーストーン。



エンジンは40年式EL。排気量1000cc。ジョーハント製マグネトーはエンジンの雰囲気に合わせて社長が磨きを担当。エアクリナーは、メキテイストを倍増させるマリアのベルトパックルを流用しワンプ。



シートレールを完全に無視した極細シートは、名古屋の有名四輪ホットロッドショップ「パラダイスロード」の作品を参考にした一品。ベースは鉄板で、近所のクルマ屋に布張りを依頼。乗り心地はほとんど無視。



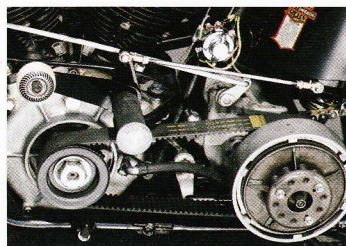
一番最後に製作したというミッドコントロールを上手にかわし、絶妙に上がった一直線の2in1のワンプマフラー。ポッシュ製1-1/2の細いパイプを使用。短いバップルで歯切れのいい乾いた音を奏でる。



Rフエンダーにつけられたフエンダーチップもタンクと同様、ビルダー西山氏の父が営む西山金属工業が「級品の技術を駆使して製作。テールライトはLEDを採用。



通称「鳥居バー」と呼ばれるハンドルにはポッシュ製インナーズロットルを装着。オーナーの同級生でもあるB製作室所属の彫刻師が作ったというシフトノブ。メーターはオークションで手に入れたスミス製。



一次駆動はプリモ製1-1/2オープンベルト。スーサイドペダルにはスケート用品好きのオーナーのことを考え、さらに全体の雰囲気に合わせて、昔からある渦巻き状の絵柄が人気のSPIT FIRE 54mmのウィールを装着。



何度も作り直したというワンプのガスタンクには、釣りに好きにはたまらない知る人ぞ知る「大吉ルアー」のエアブラシが施され、西山金属工業による銅板に金メッキのタンクエンブレムが鈍い光を放つ。